



# オフィスを大都会に置く必要はある？

どこでも農村や地方の過疎化が問題。能登地震の復興も過疎への対処が問題だ。その一方で大都会への人口の集中が問題となる。

## 何故都会に集中？

都会には超高層ビルや高層マンションが建っている。何故か？例えば十階建てしか建てられなかった所を五十階まで建てられるよう法律を変えたから。それは土地の面積を五倍にしたのと同じ。「会社やオフィス、住宅の面積を増やし、そこに働き住む人を増やす事は自公の政策そのもの。不動産屋、建設会社は儲かる。

スが大都会にある必要はない。大都会に膨大なインフラを作る必要も無い。

## 地方はどうか？

能登地震の復興で話題になるのは旅館などの産業ばかり。それはとても重要な事だが、元々の農業や工業が話題にならないのは悲しい。

今、政権は「減反」で米農家の基盤を壊している。その一方米国から米を輸入。農業を壊すのが自公の政策だから、能登の農業復興には見向きもしない。それでは若い人が能登の復興に頑張るのは難しい。地震で壊れた集落を年寄りだけで再建できる訳がない。地方の産業を支援してこそ復興もできる。あなたはこう思われますか？

## 大岡川、桜と鶺鴒

神奈川県横浜市南区弘明寺町

二〇二四年四月



例年、三月下旬には花見の人で賑わう。しかし、今年、開花は遅かった。この絵を描いた四月十日は正に満開。散り始めた花びらが花筏を作っていた。川面を見ていると、水面下に水草が沢山見える。

その間に十センチ位の魚の群れ。時折、ひねったからだが銀色に光る。ボラらしい。それを狙って鶺鴒が潜る。ボラは「掴まってはならじ」とさっと散る。それでも結局は鶺鴒の嘴に捕らえられる。鶺鴒は捕らえた

魚を啜え治し、真っ直ぐにして飲み込む。潜っても何も捕らえられない時もある。獲物を捕らえるのに成功するのは数回に一度だろうか。ひとしきり獲物を捕ると、羽をゆったりと広げ乾かしていた。

